

# しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年8月18日号 (通算第9号)

## 子どもとの Q&A (ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです!)

**Q** : 川で小さな魚をつかまえました。どのように飼ったらいいですか?

**A** : 川の魚は、川の中にいるほうが幸せなのです。広い所から、せまいところにとじこめられて、元気いっぱい泳げなくなってかわいそうです。どうしても飼いたいときは、まず、5時間くらい汲み置きをした水を水そうにいれます。



川でとった水草があれば、入れます。ポンプがあれば、空気を入れて酸素不足にならないようにします。エサは、赤虫か金魚の餌を少しやります。

詳しく知りたいときは、図鑑で飼いを調べれば詳しく出ています。パソコンで、「・・・の飼い方」で検索しても調べることができます。

しばらく、水そうで飼って、よく観察したら、もとの川に逃がしてあげましょうね。

## 大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を!)

**Q** : 恥ずかしい質問ですが、桃栗3年って、どんな意味ですか?

**A** : とんでもない、いい質問です。これは、果樹が実を付けるまでに何年くらいかかるかを言い表した言葉です。



「桃栗3年、柿8年、柚子の大バカ18年」と言う宋です。つまり、苗木を植えてから果実

がなるまでに、「桃と栗は3年かかります」、「柿は8年かかります」、「柚

子は18年もかかります」と言うことで、栽培に携わってきた人が経験の中から発見したものだそうです。

ある地域では、「桃栗3年、柿8年、梨の大バカ16年」と言うそうです。人間は、20歳が成人式です。すから「人20年」とでもいうのでしょうか。選挙権が18歳になったのでから「人18年」でしょうか?

## 学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある!)

**Q** : 「開かれた教育課程」と言うことが言われていますが、地域に根ざした教育と考えていいでしょうか?

**A** : 「開かれた教育課程」は、教育課程の計画、実施、評価、改善 (PDCA) を、学校が主体性を持ちつつ、保護者や地域と協力・連携して進めて行こうという発想です。



したがって、地域に根ざした教育と言う捉え方もあると思います。学校の考え方で、「地域は教室」「地域は学習材」「地域は先生 (外部の人の授業参加)」「地域は家族」「地域は世界の入り口」ということを進めるだけでなく、保護者や地域住民、関係諸団体と「子どもに質のよい教育をする」ということを共通目標にして進めたいかがでしょうか。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。